

「情報専門学科におけるカリキュラム標準J07(中間報告) ー知識体系(BOK, Body of Knowledge)中間報告ー」

発行: 2007年7月31日

編者: 情報処理学会情報処理教育委員会 JO7プロジェクト連絡委員会

場 所	誤	正
vii頁 [7]	(http://www1.acm.org/education/curricula.html)	(http://www.acm.org/education/curricula.html)
49頁/SE-5～60頁/SE-16 ヘッダー	SE奨励カリキュラム-CCSE対応表	SE推奨カリキュラム-CCSE対応表
66頁/CE-6 CE-VLS	CE-VLSIの設計および製造	CE-VLS VLSIの設計および製造
69頁/IT-3 IAS7	フォレンジック論(情報証拠論)	フォレンジック(情報証拠)
144頁/PL-8	図1:2005年	図1:2005年度の達成度区分のグラフ
174頁/PL-38、175頁/PL-39、177頁/PL-41、179頁/PL-43	破線は2006年度、実線は2006年度と2005年度の合計、●は・・・	「破線は2006年度、実線は2006年度と2005年度の合計」をトル
191頁/A-11 下から 14行目～10行目	● CC2001 報告は、CS カリキュラム …… にしても、“20xx”は発行年を示す	簡条書き項目ではなく、段落を変えて説明文とする。 CC2001 報告は、CS カリキュラム …… にしても、“20xx”は発行年を示す。
196頁/A-16 7行目	19990年代まで	1990年代まで
210頁/A-30 3.1節 2行目	不正確な印象を与えかねない	不正確な印象を与えかねない
213頁/A-33 表3.2 下から3行目	HW テスト法とフォールトトレラ	HW テスト法とフォールトトレランス
216頁/A-36 下から12行目	C E と I S “最大”が3)	C E と I S (“最大”が3)
221頁/A-41 下から13行目	つけ出す探すが肝要である	つけ出すことが肝要である
227頁/A-47 下から4行目	認定に枠組みに限定が付き	認定に限定が付き
234頁/A-54 第2段落 3箇所	機関施設	教育機関
236頁/A-56 下から2行目から1行目	…もったことがないのである。がなかった。	…もったことがなかった。
246頁/A-66 4. 5. 4節 2-3行目	認定のための標準(技能と専心について)を設定すること、	認定のための標準(権限と委任について)を設定すること、
253頁/A-73 ハードウェアのテスト法とフォールトトレランス 2行目	電子機器および回路とシステムも参照	電子工学および回路とシステムも参照
415頁/F-7 CE-VLS	CE-VLS の設計および製造	CE-VLS VLSIの設計および製造
485頁/G-1 IAS7	フォレンジック論(情報証拠論)	フォレンジック(情報証拠)
496頁/G-12 学習の成果 12.	フォレンジック(情報証拠論)	フォレンジック(情報証拠)
496頁/G-12 学習の成果 13.	フォレンジック(情報証拠論)	フォレンジック(情報証拠)
497頁/G-13 トピックス	・冗長性	インデントを1つ上げる ・冗長性
502頁/G-18 ISA7 トピックス	デジタルフォレンジック(情報証拠) と他のフォレンジック分野との関係	フォレンジック(情報証拠) と他のフォレンジック分野との関係
502頁/G-18 ISA7 学習の成果 2.	デジタルフォレンジック(情報証拠) と他のフォレンジック分野との関係	フォレンジック(情報証拠) と他のフォレンジック分野との関係
502頁/G-18 IAS8 学習の成果 2.	2. 電子的な文書は同時に2 つ以上の状態にあることが多い」	2. 「電子的な文書は同時に2 つ以上の状態にあることが多い」
513頁/G-29 技術を統合するためのプログラミング(IPT) 説明文の4行目	統合やセキュリティを留意に行うために	統合やセキュリティを容易に行うために
549頁/G-65 WS5 学習の成果 14.	Dos(サービス拒否攻撃)	DoS(サービス妨害攻撃)